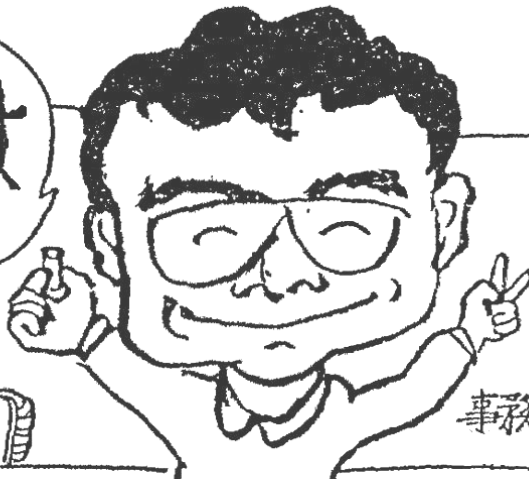


こんにちは

日本共産党
県議会活動報告
週刊ニュース

2017年8月6日 NO.941



さら とみ ひ

吉良富彦 です

事務所

吉良富彦事務所 855-9439 愛宕商店街
議会控室 823-9524 県議会内

平和を祈る夏 科学者集会in高知

● 原水爆禁止2017年世界大会 科学者集会 in 高知が7月30日、核兵器禁止条約の締結と核被災者の救済を目指して高知市で開かれました。

マーシャル諸島で1954年3月～5月に6回の核実験があり、その放射能総量は広島原爆が8年9ヶ月と18日の間、毎日爆発した量です！1946年～58年では67回、広島原爆7200発分の規模に及んでいます。また、米、英、仏、ソ、中の大気圏核実験は総計488回、地下核実験は2000回以上にも及びます。

●地球規模、グローバルな被災に対し、広島、長崎、ビキニ、マーシャル、チェルノブイリ、福島の被災者が国際的ネットワークを作る事、また、7月7日に国連で採択された「核兵器禁止条約の第6条に明記された”実験による影響への支援、社会的経済的包容”を実施させるため

に、各国政府が条約に批准するよう求める事や、地球規模の環境汚染と人類など生命への長期的な脅威と影響を明らかにさせる事の大切さが語られました。

●また、伊方原子力発電所の断層の長さ想定が極めて短く、断層面も南に傾斜している事。原子炉緊急停止の制御棒操作の時間的余裕がない



ほど震源が近い事など伊方核発電所の危険性の報告が岡村真高知大名譽教授からありました。

●安倍政権は、大学の研究費を毎年1%ずつ削減する一方、安全保障技術研究という名の軍事研究費は2015年度3億円、2016年度6億円、2017年度110億円へと一挙に増額しています。このやり方は軍学共同へと学者を誘導するもので、科学者の責務を果たすための研究者科学者憲章、行動規範作りが必要との報告もなされました。

都議選後は反応激変

購読呼びかけ次々読者に

高知市

秦支部

「どうお考えですか」とたまたま嬉しい。期待していません」と、再び読者になりました。

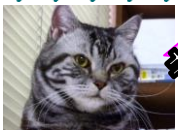
高知市秦支部の安岡哲雄支部長は25日、吉良富彦県議とともに地域の支持者を訪問、1人が初めて「赤旗」日刊紙を、4人が日曜版を購読しました。一気に5人も読者が増えたのは久しぶりです。安岡支部長は、「都議選前に吉良県議と2人で同じ地域を訪問したとき比べ物にならないぐらい、反応が激変していました」と振り返ります。

「選挙で協力していただくだけでなく、「赤旗」を読んでいたことが大きな力になります」と訴えると、次々と読者が増えました。

対話では支持へのお礼をのべ、都議選と仙台市長選の結果を伝えて、「今、市民と野党の共闘で安倍政権を倒すためにがんばっています。今の安倍政権について、今の安倍政権について

「選挙で協力していただくだけでなく、「赤旗」を読んでいたことが大きな力になります」と訴えると、次々と読者が増えました。

「選挙で協力していただくだけでなく、「赤旗」を読んでいたことが大きな力になります」と訴えると、次々と読者が増えました。



キラリン
にゃんでも通信

●日頃のご購読感謝申し上げます。私は6日より、国連で核兵器禁止条約が採択された年の記念すべき2017年原水禁世界大会長崎へ参加し、ビキニ被災者の救済を訴えてきます。また、勤務員のお盆休み等もある事から、本読者ニュースは、13日付、20日付と休刊致します。ご了承下さい。

●毎日暑い日が続きますね。
私は、細めな水分補給などに気を付けながら、何とかこの夏を元気に乗り切ろうと思っています。皆様もご自愛くださり、どうぞお元気にお過ごし下さいませ。